

令和3年度使用教科用図書 調査研究報告書

《中学校用教科用図書》

国	語	…	P.1
書	写	…	P.5
社	会	地理的分野 歴史的分野 公民的分野 地図	… P.9
数	学	…	P.27
理	科	…	P.34
音	楽	…	P.39
美	術	…	P.41
技	術	…	P.44
家	庭	…	P.47
保健・体育		…	P.50
道	徳	…	P.54
外	国	語	… P.61

教科名（ 国語 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色遣いが目に優しく、UDの視点を取り入れ分かりやすく視覚化されており特別支援教育への配慮がなされている。字体も手書きに近く、筆遣いや字形をつかみやすく漢字学習にも適している。 ・「読む」の脚注語彙や「広がる言葉」、資料編、Dマークコンテンツなど、家庭でも取り組める学習内容が豊富である。 ・育てたい力を明確にして、全ての編集がそれを基に構成されている。 ・新出漢字についてはページ番号に加え、行番号が付いていたり、本文にも行番号以外に目印がついていたりとは細かな配慮がなされている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「①「言葉の力」を、しっかりと鍛える、②想像する、思考する、伝え合う、③学ぶ心に、火をつける」を編集の基本方針とし、「言葉の力」の育成をめざすことを軸に構成されている。 ・イラスト「学びの扉」を活用し、目標を明確にするとともに意欲を高める工夫がされている。 ・短い文章で基礎から学び、深く考える教材につながるように接続を意識して配列されている。 ・身に付けたい資質・能力が、「言葉の力」という囲みで、生徒に分かりやすい表現で示されている。 ・各領域とも、3年間を通した系統性・段階性をもって「目標」が立てられ、さまざまな力が偏りなく学べる構成である。 ・学習内容が他の教材にも活用できるように領域間のつながりも考慮され、配列されている。 ・教材末尾の「振り返り」は、学んだことを自分の言葉でまとめる記述式になっており、「言葉の力」の確実な習得を促し、自己評価ができるようになっている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県に関する内容（作者、地名）が各学年で取り扱われている。 ・『話す・聞く』『書く』の教材が充実しており、生徒が興味をひきやすい展開例が多く、活動がしやすい。 ・現代的な諸課題が数多くの教材で扱われており、生徒の視野を広げ、国語学習を生活や人生に生かすという視点で編集され、「学びに向かう力、人間性等」を涵養するための工夫がされている。 ・防災に関する教材の扱いが他社と異なり、想像し、思考する要素が含まれている。 ・古典において色彩豊かな絵巻や資料性の高い図版が多く、教材の背景なども理解しやすい。 ・情報の扱いに関する事項で指導しやすい展開例が多い。 			

教科名（ 国語 ）

発行者番号	1 5	発行者名	三省堂
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教材に、情報を的確に捉えて考えを深めるための「思考の方法」、教材の言葉をきっかけに多様な観点から語彙を豊かにする「語彙を豊かに」を設定するなどの工夫が凝らされている。 教科書冒頭に目標がしっかりと示されており、確かな目的と見通しを持ち、「学び方」を意識しながら学習を進められるように工夫されている。 読みやすく、学びやすい独自の書体を開発し、画数や点画の方向等において誤解が生じないような配慮がされている。見開き完結のレイアウト、図による解説、UDの視点からの配慮、薄くて軽い紙の開発と開きやすい製本方式が取り入れられている。イラストや図が多く、余白部分も多い。ただ、内容よりもイラストや図が先に目に入ってきて、逆に内容を捉えにくい面がある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「①主体的に学ぶ、②対話をとおして学ぶ、③深く学ぶ」を編集の基本方針としている。 知識および技能を習得する学習と、思考力・判断力・表現力等を育成する学習とが特定の時期に偏ることなく、バランスよく適切に配分されている。 生徒の発達段階に応じ、各学年の配当字数の中で無理なく学習計画が立てられるよう適切な分量の教材が配列されている。 各学年最初の説明文教材では、折り込みを用いて、「読み方」を学び、直後の教材で活用する形式となっている。 巻末の資料編には学習に役立つさまざまな資料が掲載されており、簡易の「国語の資料集」として扱える。 各学年の巻末に『読み方を学ぼう』一覧』を設け、学習した読み方を振り返って確かめることができる。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 急激な社会の変化がもたらす現代の課題や、持続可能な開発目標に対して、積極的に問題解決にあたるための対話や合意形成の仕方などの具体的方法、そのために欠かせない論理的な思考力、判断力、表現力等を育成する教材が配列されている。 新学習指導要領の「対話的で深い学び」の基礎を築く「話す・聞く」の領域ではさまざまな学習の場面や社会生活で活用できる「話し合いのこつ」を身につけるとあるが、生徒が生き生きと活動する場面を引き出すにはもの足りなさを感じる。 1, 2年生で兵庫に関する教材が掲載されている。 			

教科名（ 国語 ）

発行者番号	1 7	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝え合う力、豊かな言語感覚を養うために、教材の目標やねらいを明確にするとともに、系統的に教材を配列し、言葉による見方・考え方はたらかせ、自ら考える力を身につけられるよう配慮されている。 ・誰もが使いやすい教科書を目指し、教材化やデザインに配慮されている。また、学習しやすいフォント（UDフォント）の独自開発や、発達段階に応じた文字の大きさ、行間などへの配慮が行われている。 ・学年ごとに主となる色が決まっており統一感があるが、それが強く目に入ってきたり、単調に感じられたりする面もある。 ・「まなびリンク」では、デジタル資料で学習が支援されており、生徒の自学自習に役立つ資料を、ホームページから利用できる。QRコードも用意されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「①主体的・対話的で深い学びを実現する、②確かな言葉の力を身につけ、生かす」を基本として編集されている。 ・領域や指導事項に偏りがなく、学習時期も考慮しながら、バランスよく教材が配置されている。 ・各単元には、教材で取り上げている話題・内容に応じて生徒がさまざまな課題について考える手立てとなるよう、キーワードを七つにまとめ、3年間を見通して各単元に設定されている。 ・「学びナビ」と「目標」で学習の見通しをもち、「振り返り」で自分の学びを確かなものにする工夫がある。ただ、紙面の上下に配された色づかいが強すぎて扱いにくさを感じる。 ・「学びチャレンジ」では、思考力の育成を図る工夫がある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された言語活動例を漏れなく扱えるよう編集されている。また、〔知識及び技能〕と〔思考力、判断力、表現力〕を習得し、活用するという形で相互に配置されている。 ・各学年に古典作品と近代文学を取り上げる単元を設け、代表的な作品を系統的に学ぶことができる。付録「言葉の自習室」でも古典や伝統芸能に関する教材を設け、学習が深められるように配慮されている。 ・各学年の「総合（SDGs）」教材をはじめ、各領域等にSDGsや生徒が日常的に向き合っている課題を、他教科の学習と関連が図れるように配慮されている。 ・「メディアと表現」の教材では、広告、新聞、ニュースなど、生徒が日常で接している多様なメディアの特質を理解することで他教科での学習活動につながるように工夫されている。しかし、複合的な要素が多く、「めあて」を明確にしにくい面もある。 			

教科名（ 国語 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストや図表等、落ち着いた色合いや雰囲気のものが入り入れられており、UDを意識した編成になっている。 ・文字が小さめで、文字数が多い。そのため生徒の興味を引くには堅苦しい感じが否めず、学びへの意欲を導きにくい面がある。 ・表紙の手触りや厚み、重さ等、扱いやすい装丁である。 ・学習の流れが分かりやすい紙面、用字や書体（UD書体）で視認性を高めている。 ・全体を上下2段に整理し、学習の流れを明確にし、何を、何のために、どう学ぶのかがひと目でわかる工夫がされている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「①確かな国語の力を育む、②語彙力を高め、豊かな感性と論理的思考力を培う、③国語の学びを、社会生活や未来につなぐ」を基本方針としている。 ・学習活動を通して「言葉による見方・考え方」を育成できるよう、年間8系列のテーマで教材が配列されている。 ・「知識及び技能」及び「思考力・判断力・表現力等」の各領域が特定の時期に偏ることのないよう、軽重をつけながらバランスよく配分し配置されている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域では、簡潔に学び方を明示し、学習の過程が確認できるように編集されている。そのため生徒は見通しを持ち、自己調整しながら主体的に学習できる。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の各学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう、教材が選定・作成されている。 ・「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」など「情報の扱いに関する事項」について、見開き2ページで解説するコンパクトな教材が設けられている。的確に理解を促し、論理的思考力の形成や表現に生かせるよう、各学年、系統立てて位置づけられている。 ・伝統的な言語文化を育てるため、「古典の世界」を新設、「季節のしおり」では四季の言葉や詩歌を挿し絵とともに紹介し、言語文化との新鮮な出会いが演出されている。しかし、時代背景等を理解するための資料は少ない。 ・SDGsに代表される現代的な諸課題を幅広く取り扱っている。 ・2、3年で兵庫に関する内容が取り上げられている。 			

教科名（ 書写 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A B版 128ページ 1～3年 ・ 色彩・レイアウトについては、色覚特性に配慮している。生徒の振り返り欄を設けている。工夫されているが、カラーページが多く、かえって生徒がみにくいのではとの懸念がある。 ・ 「書写で学ぶこと」「学習の進め方」については目次の次に配置してあり、生徒の学習が進みやすいよう配慮されている。 ・ 毛筆の練習量が各学年ともに少ない。また、筆順の際の注意点についての記述が少ない。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の教材 毛筆の手本：（楷書2・行書2） 硬筆の手本（教材）：字形・楷書の仮名・文字の大きさと配列・字形の仕組・案内の手紙・年賀状・竹取物語 ・ 2年生の教材 毛筆の手本：（楷書0・行書4） 硬筆の手本（教材）：点画の省略・筆順の変化・行書と仮名の調和・行書と楷書の使い分け・本のポップ・平家物語 ・ 3年生の教材 毛筆の手本：（楷書0・行書0） 硬筆の手本（教材）：手書き文字・効果的な文字の書き方 ・ その他：巻末に折込式の書き初め題字・目的別書写活用ブック <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>○学年ごとの「書写に関する事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1学年 ア：字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 イ：漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。 ・ 第2学年 ア：漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速やかに書くこと。 イ：目的や必要に応じて楷書または行書を選んで書くこと。 ・ 第3学年 ア：身の周りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。 <p>以上については、適切に教材を配慮し、系統的に学習できるように対応している。</p>			

教科名（ 書写 ）

発行者番号	15	発行者名	三省堂
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B5版 130ページ 1～3年生合冊 ・ 色彩・レイアウトについては、ユニバーサルデザインに配慮している。識別しにくい配色は避け、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けている。キャラクターが登場し、知識・技能の理解や習得がスムーズに行えるよう学習のサポートをしている。 ・ 「学習の進め方」については、「この教科書で学ぶ皆さんへ」として学習の流れが書かれており、アイコンや教科書のページの一部を掲載し視覚的に分かりやすくまとめているが、時間確保がしにくい書写の学習をするうえでは難しい流れである。 ・ 毛筆の手本が縮小版であるため、実際の太さや配置が生徒にはわかりにくい。硬筆の教材として、なぞり書きのページは充実している。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の教材 毛筆の手本：(楷書2・行書4) 硬筆の手本(教材)：字形の整え方(点画の組み立て・部分の組み立て・外形)・仮名の字形／文字の大きさと配列・点画の丸み／点画の連続／点画の形や方向の変化) ・ 2年生の教材 毛筆の手本：(楷書0・行書4) 硬筆の手本(教材)：点画の省略／筆順の変化・行書と仮名の調和／行書に調和する仮名 ・ 3年生の教材 毛筆の手本：(楷書0・行書1) 硬筆の手本(教材)：※手本としては見当たらない ・ コラム等：学びを広げる「部分別行書一覧表」・(発展)「書の古典」 ・ 資料編 有 P82～124 ・ 書初め教材：各学年ともに巻末に折込式 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>○学年ごとの「書写に関する事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1学年 ア：字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 イ：漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。 ・ 第2学年 ア：漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 イ：目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。 ・ 第3学年 ア：身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。 以上については、適切に教材を配置し、系統的に学習できるよう対応している。 			

教科名（ 書写 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A B版 128ページ 1～3年合冊 ・ 色彩・レイアウトについては、カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォントに配慮した色使いやレイアウトになっている。 ・ 「学習の進め方」については、「目的に合わせて書こう」のページがあり、すっきりと読みやすく、学習の流れが視覚化されている。 ・ 毛筆（楷書・行書）硬筆の手本とも、練習教材が豊富である。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の教材 毛筆の手本：（楷書3・行書3） 硬筆の手本（教材）：字形・筆順・行の中心・文字の配列・楷書と仮名の調和 ・ 2年生の教材 毛筆の手本：（楷書0・行書3） 硬筆の手本（教材）：点画の省略・筆順の変化・行書と仮名の調和・『走れメロス』・『枕草子』・『平家物語』 ・ 3年生の教材 毛筆の手本：（楷書0・行書2） 補充教材で（楷書4・行書4） 硬筆の手本（教材）：配列・奥の細道 ・ その他：巻末に折込式の書き初め題字・コラム（暮らしや歴史、文字の変遷など） <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>○学年ごとの「書写に関する事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1学年 ア：字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 イ：漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。 ・ 第2学年 ア：漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速やかに書くこと。 イ：目的や必要に応じて楷書または行書を選んで書くこと。 ・ 第3学年 ア：身の周りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。 <p>以上については、適切に教材を配慮し、系統的に学習できるように対応している。</p>			

教科名（ 書写 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B 5 版 158 ページ 1～3 年生合冊 ・ 色彩・レイアウトについては、カラーユニバーサルデザインを使用し、文字や図表等における色の組み合わせに配慮している。また、目次や単元名、「学習の窓」にはユニバーサルデザイン書体を用いている。 ・ 「学習の進め方」については、「学習のはじめに一姿勢・筆記具の持ち方・字形の整え方」の次に掲載されているため、初めての書写の際にも確認しやすい。また、手順が3段階と分かりやすく、シンプルである。 ・ 毛筆の手本が縮小版であるため、実際の太さや配置が生徒にはわかりにくい。運筆については朱書きやQRコードの読み込みによる動画コンテンツで学べるものもある。硬筆の教材として、綴じ込み別冊「書写ブック（硬筆練習帳）」が用意されており、練習教材が豊富である。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の教材 毛筆の手本：（楷書3・行書3） 硬筆の手本（教材）：漢字の筆使い・外形と中心・筆順・点画の組み立て方・部分の組み立て方・点画の変化 ・ 2年生の教材 毛筆の手本：（楷書0・行書4） 硬筆の手本（教材）：点画の省略・筆順の変化・部分別に練習しよう・行書と仮名の調和 ・ 3年生の教材 毛筆の手本：（楷書0・行書2） 硬筆の手本（教材）：書写テストに挑戦しよう ・ コラム等 文字の歴史を探る・物語を千年書き継ぐ・UD書体って何だろう ・ 資料編 有 P109～144 ・ 書初め教材：全学年巻末に折込式 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>○学年ごとの「書写に関する事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1学年 ア：字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 イ：漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。 ・ 第2学年 ア：漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 イ：目的や必要に応じて楷書または行書を選んで書くこと。 ・ 第3学年 ア：身の周りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。 <p>以上については、適切に教材を配慮し、系統的に学習できるように対応している。</p>			

教科名（ 社会 <地理的分野>）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的な学び」の実現については、構造化された「問い」を軸にする課題解決的な単元構成である。 ・「対話的な学び」の実現については、小集団での参加学習型のコーナーを設けている。 ・「深い学び」については、地理的な見方・考え方を各ページに設定されている「探求課題」や「探求のステップ」「学習課題」「チェック&トライ」に反映させることで実現できるようにしている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の配列に他社との違いはないが、内容の分量では世界と日本の地域構成が多く、日本の諸地域が少ない。 ・見開き2ページで1単元を原則とした指導計画の作成が可能な分量になっている。 ・地域的特色の理解をすすめるために、小学校での既習内容との接続にも配慮した構成となっている。 ・写真や図表などが3分野の関連を図った教材となるよう工夫されている。 ・「日本のさまざまな地域」の「近畿地方」での兵庫県の扱いがやや少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の学習を、単元全体を貫く問いである「探求課題」と、節ごとの課題である「探求のステップ」、1単位の学習のめあてである「学習課題」の3段階の問いで構造化し、細かいステップで課題を解決していくことで、思考・判断した内容を適切に表現する力が身につけられるように構成されている。 ・小集団での参加学習型のコーナー「みんなでチャレンジ」を設けることで、本文での学習内容を定着させ、多様な意見に触れながら価値判断や意思決定を行えるようにしている。 ・SDGsや社会的な見方・考え方を働かせる内容が豊富である。 			

教科名（ 社会 <地理的分野>）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的な学び」の実現のために、基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得を図る構成となっている。 ・「対話的な学び」の実現のために、個人やグループなど、あらゆる学習形態に応じた学習活動への支援を行うようになっている。 ・「深い学び」の実現のために、資料や情報の収集がしやすくなっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の配列に他社との違いはないが、内容の分量では統計資料・索引の分量が多い。 ・見開き2ページで1単元時間を原則とした指導計画の作成が可能な分量になっている。 ・3分野の関連を図った「地理の窓」のほか、グラフ等の読み取りなど技能の習得を中心とした「地理の技」などのテーマ学習のページを設けている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習課題」を明示して課題意識を持って学習に取り組めるようにしている。 ・章・節の最後に「学習のまとめと表現ページ」を設けて、語句・位置・自分の言葉でまとめて表現・意見交換など、段階的に深めていけるようにしている。 ・「学びリンク」を設けて学習に必要な様々な情報を見ることができる。 ・伝統や文化等に関する内容は多いが、SDGsや領土に関する内容はやや少ない。 			

教科名（ 社会 <地理的分野>）

発行者番号	46	発行者名	帝国書院
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的な学びの実現」のために導入の工夫、見通し・振り返り活動を充実させている。 ・「対話的な学び」の実現のために、実社会の人々による協働的な取り組みが豊富に掲載されている。 ・議論を整理する技能習得コーナーを充実させている。 ・「深い学び」の実現のために、多角的・多面的な考察場面が設けられている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の配列に他社との違いはないが、内容の分量は日本の地域的特色・諸地域が多く、統計資料・索引等が少ない。 ・見開き2ページで1単元時間を原則とした指導計画の作成が可能な分量になっている。 ・人々の営みが見やすい写真資料を全編に掲載している。第2章・第3章冒頭に写真から地域を概観する「写真で眺める〇〇州（地方）」を設けている。 ・「日本のさまざまな地域」の「近畿地方」での兵庫県の扱が多い。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「この教科書の学習のしかた」で、学習の見通し、振り返り活動の基本的な流れを示している。 ・章・節・各本文ページの冒頭に単元を貫く問いを設けている（「章の問い」「節の問い」「学習課題」）ことにより、生徒自身が日々の学習活動に見通しを持てるようにしている。それらの受け皿としての課題も、章・節・各本文ページの末尾に設けている。（「確認しよう」「説明しよう」「学習を振り返ろう」）巻頭に「地理的な見方・考え方について」を設け、章の末尾の「章（節）の学習を振り返ろう」で、前述の「見方・考え方」を働かせて説明・考察ができる。 ・各本文に環境・防災・共生のテーマでコラム「未来に向けて」が設けられている。 ・現代的な諸課題解決に向けてやSDGs についての内容はやや少なく、領土問題や伝統文化に関する内容が多い。 			

教科名（ 社会 〈地理的分野〉）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的な学びの実現」のために、「見方・考え方」を働かせる学習活動を教科書内に多数設けている。 ・「対話的な学び」の実現のために、社会の課題についての考察、構想を行い、争点を焦点化して判断基準をふまえて表現することができるようになっている。 ・「深い学び」の実現のために、課題を生徒自らが設定し、その解決に向けて考察、構想する学習活動を設けている。 ・世界の各州・日本の各地方の地域的特色を確実に捉えられる構成にもなっており、導入で興味・関心を引きつけ、その後に大観し、特色を大まかにつかめるようになっている。 ・世界のさまざまな地域では、地形図とともに人口密度の地図が並んで載せられている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の配列に他社との違いはないが、内容の分量については地域調査の手法が多く、世界の諸地域・日本の諸地域が少ない。 ・右ページの側注欄には、学習課題に対応した「確認しよう」「深めよう」を設け、知識・技能の定着と対話的な学びができるようになっている。 ・見開き2ページで1単元時間を原則とした指導計画の作成が可能な分量になっている。 ・「日本のさまざまな地域」の「近畿地方」での兵庫県の扱いが多い。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習課題」「見方・考え方」を明確に示し、何を学ぶのか、どのようなことに着目して学習を進めるのかわかりやすく構成されている。また、「見方・考え方」を働かせながら考える問いである「深めよう」を示している。 ・各州の「主題」や各地方の「考察の仕方」をもとに「主題学習・動態地誌的学習」を進め、「ふりかえり」までの学習を通して、学びを深めることができるようにしている。 ・現代的な諸課題解決に向けての内容のうち、SDGsなど世界に関する内容の割合がやや多い。 ・「日本のさまざまな地域」の「近畿地方」での兵庫県の扱いが多い。 			

教科名（社会・歴史）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍									
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで1時間の構成。 ・毎時の学習課題と学習のまとめに利用できる『チェック』『トライ』の項目が明記されている。 ・『資料から発見!』『もっと歴史』『地域の歴史を調べよう』等のコラムがある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <table border="0"> <tr> <td>第1章 歴史へのとびら（12）</td> <td rowspan="7"> </td> <td>・近現代の扱いが、若干少ない。</td> </tr> <tr> <td>第2章 古代までの日本（44）</td> </tr> <tr> <td>第3章 中世の日本（36）</td> </tr> <tr> <td>第4章 近世の日本（50）</td> </tr> <tr> <td>第5章 開国と近代日本の歩み（58）</td> </tr> <tr> <td>第6章 二度の世界大戦と日本（44）</td> </tr> <tr> <td>第7章 現代の日本と私たち（34）</td> </tr> </table> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の確認と学習の振り返りの構成が整っている。 ・本文以外にも『資料から発見!』『もっと歴史』『地域の歴史を調べよう』等のコラムがある。 ・各単元の学習を、単元全体を貫く問いである「探求課題」と、節ごとの課題である「探求のステップ」、1単位の学習のめあてである「学習課題」の3段階の問いで構造化し、細かいステップで課題を解決していくことで、思考・判断した内容を適切に表現する力が身につけられるように構成されている。 ・「みんなでチャレンジ」のコーナーを設定し、小集団での参加型学習による対話的な学びができるようにしている。 				第1章 歴史へのとびら（12）		・近現代の扱いが、若干少ない。	第2章 古代までの日本（44）	第3章 中世の日本（36）	第4章 近世の日本（50）	第5章 開国と近代日本の歩み（58）	第6章 二度の世界大戦と日本（44）	第7章 現代の日本と私たち（34）
第1章 歴史へのとびら（12）		・近現代の扱いが、若干少ない。										
第2章 古代までの日本（44）												
第3章 中世の日本（36）												
第4章 近世の日本（50）												
第5章 開国と近代日本の歩み（58）												
第6章 二度の世界大戦と日本（44）												
第7章 現代の日本と私たち（34）												

教科名（社会・歴史）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで1時間の構成。 ・毎時の学習課題と学習のまとめに利用できるような『確認』や『表現』等が明記されている。 ・各章の終わりには、年表形式の『学習のまとめと表現』という学習内容をまとめたページがあり、流れがわかりやすい編集になっている。 ・色覚等の生徒にも配慮した配色等の工夫を行っている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>第1章 歴史のとらえ方・調べ方（16）</p> <p>第2章 原始・古代の日本と世界（42）</p> <p>第3章 中世の日本と世界（36）</p> <p>第4章 近世の日本と世界（50）</p> <p>第5章 日本の近代化と国際社会（62）</p> <p>第6章 二度の世界大戦と日本（46）</p> <p>第7章 現代の日本と世界（38）</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の確認と学習の振り返りの攻勢が整っている。 ・各章の終わりにある、年表形式の『学習のまとめと表現』という学習内容をまとめたページがあり、歴史の大まかな流れがわかりやすい編集になっている。 ・様々な歴史資料を示したうえで「読み解こう」や「Q」などのコーナーで問いを設定し、資料を活用する技能を育てるとともに時代の特徴を考察する学習活動を重視している。 ・「歴史の窓」やテーマ学習のページを設定し、興味関心を広げつつ集団で学びを深めていくことを目指している。 			

教科名（社会・歴史）

発行者番号	46	発行者名	帝国書院							
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで1時間の構成。 ・毎時の学習課題と学習のまとめに利用できる『確認しよう』『説明しよう』の項目が明記されている。 ・『タイムトラベル』という項目で、イラストから各時代を考察するよう生徒の興味関心を高める工夫がなされている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <table border="0"> <tr> <td>第1章 古代国家の成立と東アジア（44）</td> <td rowspan="6">・現代史の配分が少ないと思われる。</td> </tr> <tr> <td>第2章 武家政権の成長と東アジア（36）</td> </tr> <tr> <td>第3章 武家政権の展開と世界の動き（54）</td> </tr> <tr> <td>第4章 近代国家の歩みと国際社会（62）</td> </tr> <tr> <td>第5章 二度の世界大戦と日本（46）</td> </tr> <tr> <td>第6章 現在に続く日本と世界（32）</td> </tr> </table> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の確認と学習の振り返りの構成が整っている。 ・各章の終わりに『章の学習を振り返ろう』という、年表を中心としたまとめる項目が作られている。 ・両論併記した資料を掲載し異なる考えや対立する考えについて知り、議論することで対話的な学びができるようにしている。 ・「多面的・多角的に考えてみよう」のページを特設して、様々な立場や洗濯を比較検討して多面的・多角的な考察を深め深い学びの実現を図っている。 				第1章 古代国家の成立と東アジア（44）	・現代史の配分が少ないと思われる。	第2章 武家政権の成長と東アジア（36）	第3章 武家政権の展開と世界の動き（54）	第4章 近代国家の歩みと国際社会（62）	第5章 二度の世界大戦と日本（46）	第6章 現在に続く日本と世界（32）
第1章 古代国家の成立と東アジア（44）	・現代史の配分が少ないと思われる。									
第2章 武家政権の成長と東アジア（36）										
第3章 武家政権の展開と世界の動き（54）										
第4章 近代国家の歩みと国際社会（62）										
第5章 二度の世界大戦と日本（46）										
第6章 現在に続く日本と世界（32）										

教科名（社会・歴史）

発行者番号	8 1	発行者名	山川出版									
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き 2 ページで 1 時間の構成。 ・毎時の最後に『ステップアップ』という形で、思考を要するような課題が明記されている。 ・『歴史へのアプローチ』『地域からのアプローチ』『歴史を考えよう』等のコラムがある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <table border="0"> <tr> <td>第 1 章 歴史との対話（9）</td> <td rowspan="7"> </td> <td>・近現代の扱いが少ない。</td> </tr> <tr> <td>第 2 章 古代までの日本（48）</td> </tr> <tr> <td>第 3 章 中世の日本（40）</td> </tr> <tr> <td>第 4 章 近世の日本（52）</td> </tr> <tr> <td>第 5 章 近代の日本と国際関係（58）</td> </tr> <tr> <td>第 6 章 二つの世界大戦と日本（42）</td> </tr> <tr> <td>第 7 章 現代の日本と世界（28）</td> </tr> </table> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の発展を促すように『ステップアップ』という形で、思考を要するような課題が設けられている。 ・本文以外にも『歴史へのアプローチ』『地域からのアプローチ』『歴史を考えよう』等のコラムがある。 ・各ページに発問が豊富に提示され、それらについて考えることで「主体的で深い学び」ができるようになっている。 				第 1 章 歴史との対話（9）		・近現代の扱いが少ない。	第 2 章 古代までの日本（48）	第 3 章 中世の日本（40）	第 4 章 近世の日本（52）	第 5 章 近代の日本と国際関係（58）	第 6 章 二つの世界大戦と日本（42）	第 7 章 現代の日本と世界（28）
第 1 章 歴史との対話（9）		・近現代の扱いが少ない。										
第 2 章 古代までの日本（48）												
第 3 章 中世の日本（40）												
第 4 章 近世の日本（52）												
第 5 章 近代の日本と国際関係（58）												
第 6 章 二つの世界大戦と日本（42）												
第 7 章 現代の日本と世界（28）												

教科名（社会・歴史）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版								
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで1時間の構成。 ・毎時の学習課題として利用できる『見方・考え方』の項目、学習のまとめに利用できる『深めよう』や『確認』という項目が設けられている。 ・随所に『できごと』という欄で、年表を取り入れている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <table border="0"> <tr> <td>第1編 私たちと歴史（8）</td> <td rowspan="6"> </td> <td>・全体的な各時代のバランスは良いと思われる。</td> </tr> <tr> <td>第2編 古代までの日本と世界（50）</td> </tr> <tr> <td>第3編 中世の日本と世界（42）</td> </tr> <tr> <td>第4編 近世の日本と世界（52）</td> </tr> <tr> <td>第5編 近代の日本と世界（102）</td> </tr> <tr> <td>第6編 現代の日本と世界（38）</td> </tr> </table> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の確認と学習の振り返りの構成が整っている。 ・本文以外にも『歴史+α』『チャレンジ歴史』『歴史を掘り下げる』『でかけよう！地域調べ』等のコラムも多い。 ・『アクティビティ』でまとめとともに時代の特色をとらえる活動ができるようになっている。 ・見開き2ページや折り込みの大きな図版など多彩な図版で本文の理解を助け、図版から読み取る楽しさや見比べる活動などで歴史の楽しさ・面白さが体験できる。 ・「チャレンジ歴史」と「アクティビティ」のページでは、歴史を学ぶ面白さを体験したり時代の特色を考えたりできるようにして、生徒の多様な資質・能力をはぐくむようにしている。 				第1編 私たちと歴史（8）		・全体的な各時代のバランスは良いと思われる。	第2編 古代までの日本と世界（50）	第3編 中世の日本と世界（42）	第4編 近世の日本と世界（52）	第5編 近代の日本と世界（102）	第6編 現代の日本と世界（38）
第1編 私たちと歴史（8）		・全体的な各時代のバランスは良いと思われる。									
第2編 古代までの日本と世界（50）											
第3編 中世の日本と世界（42）											
第4編 近世の日本と世界（52）											
第5編 近代の日本と世界（102）											
第6編 現代の日本と世界（38）											

教科名（社会・歴史）

発行者番号	227	発行者名	育鵬社							
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで1時間の構成。 ・毎時の学習課題と学習のまとめが明記されている。 ・授業テーマが、1～86の通し番号として明記されている。 ・『歴史ビュー』『人物クローズアップ』『歴史ズームイン』等のコラムがある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <table> <tr> <td>第1章 原始と古代の日本（50）</td> <td rowspan="6">・近現代の扱いが、若干少ない。</td> </tr> <tr> <td>第2章 中世の日本（34）</td> </tr> <tr> <td>第3章 近世の日本（52）</td> </tr> <tr> <td>第4章 近代の日本と世界（60）</td> </tr> <tr> <td>第5章 二度の世界大戦と日本（42）</td> </tr> <tr> <td>第6章 現代の日本と世界（33）</td> </tr> </table> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の確認と学習の振り返りの構成が整っている。 ・本文以外にも『歴史ビュー』『人物クローズアップ』『歴史ズームイン』等の文章表記が多い。 				第1章 原始と古代の日本（50）	・近現代の扱いが、若干少ない。	第2章 中世の日本（34）	第3章 近世の日本（52）	第4章 近代の日本と世界（60）	第5章 二度の世界大戦と日本（42）	第6章 現代の日本と世界（33）
第1章 原始と古代の日本（50）	・近現代の扱いが、若干少ない。									
第2章 中世の日本（34）										
第3章 近世の日本（52）										
第4章 近代の日本と世界（60）										
第5章 二度の世界大戦と日本（42）										
第6章 現代の日本と世界（33）										

教科名（社会〈公民的分野〉）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校社会科との系統性を高めるとともに中学校社会科3分野との関連が図られ、地図帳と連携した学習が展開できるようにもなっている。 ・ 他教科の学習内容との関連が図られている。 ・ 生徒がつまずきやすい事項は巻末の「用語解説」で補足説明されている。 ・ 各単元の学習が、「探求課題」「探求のステップ」「探求課題の解決」と3段階の問いで構造化されている。 ・ 「みんなでチャレンジ」などの対話的な学習場面が設けられている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文は見開き2ページで1単位時間の構成で柔軟な指導計画の作成が可能となっている。 ・ 本文のページ数は213ページで、標準授業時間100単位時間のうち5時間の予備時間を設けている。 ・ 1時間の学習では、めあてとなる「学習課題」が提示され、学習の終わりに基礎事項を確認する「チェック」と要約や説明などをする「トライ」の2段階の問いで学習課題を解決することで学習内容の定着を図れるようになっている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領に示された内容をもとに構成され、因果関係を明確に記述されている。 ・ 国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)を理解させる活動を取り上げている。 ・ 社会科の3年間の学習を貫く「環境・エネルギー」「伝統・文化」「人権・平和」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで様々な取組を扱い、現代的な課題の解決のための意識と態度を育てられるようにしている。 ・ 資料収集や地図・グラフの読み取りの技能について様々な場面を通して身につけられるように工夫されている。 ・ 我が国が抱える領土をめぐる問題や背景を取り上げ、正しく理解し意識できるようにしている。 			

教科名（社会〈公民的分野〉）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイドで見やすいA B版を採用し、興味・関心を高める写真・絵などの資料が豊富に配置されている。 ・小学校指導要領に盛り込まれた「事象や人々の相互関係」「産業と情報との関わり」「選択・判断・構想」などについてより深化した学習が展開できるようになっている。 ・配色、レイアウト、表現方法、文字などを工夫し、ユニバーサルデザインへの配慮がなされている。 ・再生紙、植物油インキを使用して製作され印刷にはクリーン電力が使用されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れや学習の見通しをつかみやすいように1単位時間の授業を見開き2ページで構成されている。 ・本文のページ数は234ページで、標準授業時間100単位時間で実施できるようになっている。 ・脚注に「小学校、他分野、他教科との関連」や「関連するSDGs」が適宜表示されている。 ・公民的分野の内容を系統的かつ効果的に学習するため、全体を「現代社会」「政治」「経済」「国際社会」の大きく4領域に分けて構成している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特色や現代社会における文化の意義や影響に関する学習を重視するため、グローバル化、情報化、少子高齢化、科学と芸術、宗教観、伝統と文化、多様性などを取り上げている。 ・「対立と合意」「効率と公正」などを取り上げ、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を培う学習を進められるようにしている。 ・社会の変化に対応した法や政治参加、財政などに関する学習を重視している。 ・課題の探求を通して社会の形成に参画する態度を養う学習を重視している。 			

教科名（社会〈公民的分野〉）

発行者番号	46	発行者名	帝国書院
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の前に」を設けたり関連する写真を掲載するなど導入を工夫して学びに向かう姿勢の涵養を図っている。 ・巻頭の「この教科書の学習の仕方」で学習の基本的な流れを示すとともに振り返り活動も行えるようにするなど主体的な学びを促進している。 ・アクティブラーニングが行えるように「アクティブ公民」を10か所設けてある。 ・すべての生徒が読みやすいようにUDフォントを使用している。 ・持ち運びの負担軽減のため重量が5%軽量化されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文左下隅に小学校社会科、地理的分野、歴史的分野からの橋渡しに配慮した工夫がなされている。 ・高校の新設科目「公共」にも通底する「見方・考え方」や「構想」を充実させている。 ・知識・技能の習得を進めるため身近な具体例を用いた概念の解説を行っている。 ・本文のページ数は210ページで、標準授業時間100単位時間のうち3時間の予備時間が設けられている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的な学び」を実現するため、導入に「学習の前に」を置き、言語活動を備えた見通し・振り返り活動を充実させ、「技能をみがく」コーナーでは情報活用技能の習得が図れるようにしている。 ・「対話的な学び」を実現するため、「先輩たちの選択」「未来に向けて」「よりよい社会を目指して」などのコーナーを配置したりコラムを掲載したりしている。 ・「章の学習を振り返ろう」「アクティブ公民」「Yes/No」などのコーナーで深い学びを実現する工夫をしている。 ・「先輩たちの選択」のコーナーを置き、キャリア教育の充実に資するようになっている。 			

教科名（社会〈公民的分野〉）

発行者番号	116	発行者名	日本文教出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本を大切にして「何を学び」「どのように学ぶのか」のポイントを押さえた紙面構成となっており、知識・技能を確実に身につけられるようにしている。 ・具体的な問いや活動事例を提示した「アクティビティ」を各所に配置し、見方・考え方を働かせるように工夫するとともに、社会の課題を考察・構想するため「チャレンジ公民」を設けている。 ・社会に開かれた教育課程の実現に向けて、日本の社会や世界の状況を幅広く視野に入れられる教材を設定している。 ・地理・歴史との連携、小学校社会科、高校「公共」との接続を見通した編集をしている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文は見開き2ページで1単位時間の構成となっており、導入資料→学習課題→見方・考え方→アクティビティ・深めよう→確認という流れが基本構造となっている。 ・本文のページ数は220ページで、標準授業時間100単位時間のうち10時間の予備時間を設けてあり、90時間で完結できるよう内容が吟味されている。 ・配列は、「私たちと現代社会」「私たちの生活と政治」「私たちの生活と経済」「私たちと国際社会」「私たちの課題」の5編で構成されている。 ・特別支援教育、防災・安全への配慮がなされている。道徳との関連も図られている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会生活を営むための教材として、「法教育」「主権者教育」「消費者教育」「キャリア教育」「金融リテラシー教育」などを取り上げている。 ・社会に開かれた教育課程の実現に向け、「明日に向かって」のページや「公民+α」のコーナーで生徒の社会参画を促すよう工夫している。 ・身近で話題性のある事例を積極的に掲載している。 ・今日的課題(人権、環境、資源・エネルギー、平和・命の尊さ、防災・減災、伝統と文化)を考えることができる教材を多数掲載している。 			

教科名（社会〈公民的分野〉）

発行者番号	225	発行者名	自由社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の番号が教科書全体を通じて連番になっている。 図版、写真資料、グラフなどが大きくて見やすい。また、掲載も厳選し見やすくなるように工夫している。 生徒の理解を図るため、基礎的事項が厳選され、体系的に整理し再構成されている。また、重要な語句については、適宜「ミニ知識」のコラムで解説している。 版が他社と同様にA B版になった。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民として重要な主題は、1つの単元だけで学習するのではなく、段階をつけて重ねて学習するようになっている。 本文のページ数は209ページで、標準授業時間100単位時間のうち5時間の予備時間が設けられている。 各章の最後にある「学習のまとめと発展」で学習が深められるように重要語句を整理して提示したり、さらに学習の発展として400字程度の課題作文のテーマをいくつか提示している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「基礎・基本の定着を図る内容」から「学習のまとめと発展」さらに「もっと知りたい」という順で学習を積み重ねていけば次第に深化が図れる構成になっている。 発展的に学習して理解を深めることが必要なところでは単元に準じた「もっと知りたい」というページを設け、ものごとを根源的に考え、生徒の人間としての目覚めや生きる態度の形成を手助けするとともに自主的に学習する態度を育て、歴史的文化的背景や社会の仕組みについて学ぶことによって高度に深い理解が得られるようにしている。 終章のレポート、卒業論文、ディベート等において主体的、実践的な能力を伸ばしていけるようにしている。 			

教科名（社会〈公民的分野〉）

発行者番号	227	発行者名	育鵬社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が「自分の立ち位置」を知り、「他人事」を「自分事」としてとらえることで、現代社会への興味・関心・意欲を高め自ら考える態度を育てることとしている。 現代社会の理想と現実を、本文と豊富な資料、コラムで示し、多面的・多角的な考察力、公正な判断力、適切な表現力を養うこととしている。 現代社会についての基礎的・基本的な知識と、見方や考え方の基礎などを確実に定着させ、公民として必要な資質をはぐくむこととしている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文は 209 ページであり、見開き 2 ページを 1 単位時間としている。全体の配当時間を 100 時間で設定している。 「つかむ」ための資料、「調べる」ための資料、「まとめる」ための資料をバランスよく配置し、1 時間で資料を効果的に使用し問題解決できるような課題設定としている。 資料や調査学習を通して「考え」「判断した」ことを自分なりの表現方法でまとめるテーマ設定で知識、思考、判断、表現の一体化を図っている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「対立と合意、効率と公正」について具体的な事例を示して学べるよう工夫している。 公民の基礎的な技能を身につける「スキルアップ」を 7 か所設置し基礎的な技能の習得を図っている。 「持続可能な社会の形成」という観点から課題を探究し、レポートにまとめる単元を設定している。 現代社会の課題(防災、情報化、持続可能な社会、公民的資質、領土、伝統と文化)に主体的に向き合う多様な教材を設定している。 			

教科名（ 社会 〈地図〉）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsなどの現代社会の諸課題の理解を深められる地図帳 ・地理・歴史・公民の学習をサポートする地図帳 ・見やすく読み取りやすい地図帳 ・見たい資料が探しやすい地図帳 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>世界全体 28 ページ 世界の諸地域 56 ページ 日本全体① 4 ページ 日本の諸地域 58 ページ 日本全体② 19 ページ 統計資料 10 ページ 索引 17 ページ 合計 192 ページ</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>巻頭の地図帳の活用方法の次に、「現代社会の課題を解決するためにSDGsを知ろう」が設けられ、関連資料として「環境・資源・エネルギー問題」「人口・貧困問題」「紛争・難民問題」が掲載されている。</p>			

教科名（ 社会 〈地図〉）

発行者番号	46	発行者名	帝国書院
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本と世界の理解が深まる地図帳 ・ 誰でも見やすく使いやすい地図帳 ・ 資料活用能力を高め、主体的に学べる地図帳 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>世界全体18ページ 世界の諸地域58ページ 日本全体6ページ 日本の諸地域62ページ 日本全体20ページ 統計資料9ページ 索引15ページ 合計188ページ</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>生徒が主体的に学びやすいように、巻頭で5ページを使って地図帳の活用方法について詳しく述べられている。巻末の「日本の領土とそのまわりの国々」がアジア諸国との関連において日本の領域を捉えやすくなっている。</p>			

教科名（数学）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭で、問題解決を進めるときに心がけたいポイントが掲載されている。 1年生冒頭に、算数と数学をつなぐ単元を「0章」として掲載されている。 1年生「平面図形」は「移動」「作図」の順に学習する。 2年生「データの活用」では、コンビニでよく売れる商品の傾向を調べる方法として「箱ひげ図」を用いている。 3年生 放物線と直線の交点の座標を扱う問題を例題で取り上げている。 3年「二次方程式」は「平方根」「解の公式」「因数分解」の順に学習する。 (ICT)デジタルコンテンツが用意されており、QRコードが掲載されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総ページ数は少ない傾向にある。(2, 3年は1番少ない。) 1年生では「数と式」領域の占める割合が低い。2, 3年生では「関数」領域の占める割合が高い。 「数と式」領域では、練習問題の量が少ない傾向にある。 発展的な学習内容を扱っているページが少なく、3学年合わせても11ページである。 興味を深めたり考え方を広めたりする話題やコラムのページが少ない傾向にある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業1コマずつのスパンで「学習課題」が明示され、これから学ぶことについて、見通しをもって学習を進められる。 単元ごとに、「深い学び」のページがあり、見方や考え方をいかして、問題の解決に取り組み、対話や振り返りをとおして考えを深める構成になっている。 ノートの作り方、ノートの工夫が明示され、友達の考えの記入、学習の振り返りなどの記入例が示されている。 節ごとに、学びの振り返りが示してあり、大きな括りの中で、学習ポイントを振り返ることができる。 			

教科名（数学）

発行者番号	4	発行者名	大日本図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に数学の学習の進め方，問題発見・問題解決の流れが図で示されている。 ・ 1年生「平面図形」は「作図」「移動」の順に学習する。 ・ 2年生「データの活用」では、国別のバレーボール選手の身長を比較する方法として「箱ひげ図」を用いている。 ・ 3年生「二次方程式」は「因数分解」「平方根」「解の公式」の順に学習する。 ・ (ICT)デジタルコンテンツは、QRコードから閲覧する。 ・ (学びに向かう力・人間性等)身近な事象と数学の関係など，数学と社会とのつながりが実感できる資料が紹介されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1，2年生において「図形」領域の占める割合が高く，3年生では「数と式」領域の占める割合が高い。 ・ 興味を深めたり考え方を広めたりする話題やコラムのページが2，3年生では一番多い。 ・ スパイラル的教材は，2，3年生において一番少ない。 ・ 全学年において「数と式」領域では例題の数が一番少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間ごとのスパンで「めあて」が示してあり，学習目標を明確にし，見通しを持って取り組める構成になっている。 ・ 問題発見、問題解決の流れを示しているページがあり，問題を読み取り，考え，解決の過程を振り返り，学びの深まりにつながっている。 ・ 思考スキルの具体例が1ページにまとめてあり，数学的な見方・考え方を働かせて，問題解決できるように対応されている。 ・ 巻末の「マスフル」は，数学がどのように生活に生かされているかを知ることができ，数学への関心や学びに向かう力につながっている。 			

教科名（数学）

発行者番号	1 1	発行者名	学校図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に「この教科書を使った数学の学び方」が掲載されている。 ・ 1年「正の数・負の数」の中で「素数」を扱う。 ・ 1年「平面図形」は「作図」「移動」の順に学習する。 ・ 2年「データの活用」では、世界の都市の気温や雨量の傾向を比較する方法として「箱ひげ図」を利用している。 ・ 3年「二次方程式」は「因数分解」「平方根」「解の公式」の順に学習する。 ・ (ICT) デジタルコンテンツが用意されており、QRコードが掲載されている。 ・ (学びに向かう力・人間性等) 章の学習の最後に、「できるようになったこと」として、これまでの学習からどんなことができるようになったか、自分で判断できるように工夫されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年とも「数と式」領域のページ数が一番多い。 ・ 「数と式」領域における練習問題の量は多い傾向にあるが、巻末練習問題は一番少ない。 ・ 7社の中で唯一SDGsに関する内容を取り扱っている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 章の導入として、身のまわりや数学の学習内容の中から、解決したい問題を取り上げ、数学への興味、主体的な学びにつながっている。 ・ 毎時間ごとに「目標」が明示され、また、「どんなことがわかったか」のまとめと「次の新たな疑問」が示されており、ねらいに基づいて振り返り、次時の新たな課題につなげる構成になっている。 ・ 数学的な見方・考え方が、問題解決の場面に、具体的な思考スキルとして明示されており、対話的な学びにつながっている。 ・ 巻末に「さらなる数学へ」として、協働学習のページが示され、見方・考え方やまとめと表現（レポート・発表）等を活用して、興味や考えを広めることができる。 			

教科名（数学）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生「平面図形」は「作図」「移動」の順に学習する。 ・ 2年生「データの活用」では、花粉の飛散量の年ごとの変化を比較する方法として「箱ひげ図」を利用している。 ・ 3年生「二次方程式」は「因数分解」「平方根」「解の公式」の順に学習する ・ (ICT) デジタルコンテンツが用意されており、QRコードが掲載されている。 ・ (学びに向かう力・人間性等) 学習したことよさを強調する場面や、数学が生活の中で生かされていることを実感できる課題、学習感想を書かせる場面などが設けられている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総ページ数は多い傾向にあり、2年生は7社の中で一番多い。 ・ 「数と式」領域では、例題や練習問題の量は少ない傾向にあるが、巻末練習問題が全学年ともが一番多い。 ・ プログラミングに関する内容のページはない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノートの工夫が示してあり、授業の流れ、既習事項との関連づけなどが分かるような例が記されている。 ・ 巻頭に数学的な考え方の例が示されており、思考スキルが使えるように、具体例が明示されている。また、問題例ごとに随所に思考スキルが明示してある。 ・ 文字の字体、フォントが工夫、使い分けてあり、ユニバーサルデザイン化されている。 ・ 自分の考えを持ち、友達の考えと比較するなど、学習のプロセスを意識し進められるページが単元に1つ程度盛り込まれている。 			

教科名（数学）

発行者番号	6 1	発行者名	啓林館
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭に、数学の学び方について紹介している。 算数の内容のうち、特につまづきの多い内容を1年生の巻頭に掲載している。 1年生「平面図形」は「移動」「作図」の順に学習する。 2年生「データの活用」では、インターネットの通信速度を比較する方法として「箱ひげ図」を利用している。 3年「二次方程式」は「平方根」「解の公式」「因数分解」の順に学習する。 発展的な内容等のオプション部分を別冊とせず、巻末から縦開きで掲載している。 (ICT) デジタルコンテンツが多数用意されており、コンテンツ毎にQRコードが掲載されている。 (学びに向かう力・人間性等) 巻末のオプション部分では、学習を振り返り、自己評価できるよう工夫されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総ページ数は多い傾向にある。特に1，3年生では一番多い。 1，3年生において「図形」領域の占める割合が高い。2年生では「関数」領域の占める割合が高い。 1年生において「数と式」領域の占める割合が低い。2年生では「データの活用」領域，3年生では「関数」領域の占める割合が低い。 発展的な内容は少ない傾向にあるが，30～60ページにわたり、『自分から学ぼう編』として身の回りに関することや考えを深める題材がまとめられている。 興味を深めたり考え方を広めたりする話題やコラムのページが30ページほどあり，比較的多い。 スパイラル的教材は，1，3年生で一番多い。 プログラミングに関するページが1，3年生に合計4ページある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎時間ごとに学習目標が設定してあり、見通しをもって取り組める構成になっている。 節の導入に、身の回りの題材を取り上げ、数学が生活や社会の中で有用に働いていることを感じながら、主体的に取り組める構成である。 反復練習や習熟度別学習にも対応した豊富な問題で、基礎基本の定着、学習内容の定着がはかれ、個に応じた学習が展開できる。 筋道を立てて考えて表現したり、理由を説明したりするなどの場面が設けてあり、全国学力・学習状況調査に見られる課題への対応につながっている。 学習のまとめりごとに、その学習で使った数学的な見方・考え方が示されており、思考スキルを具体的に、繰り返し振り返ることができ、数学的な見方・考え方を意識する習慣につながっている。 キャリア教育に関連する題材や数学とプログラミング的思考を融合した題材が取り上げており、今日的な課題に対応している。 			

教科名（数学）

発行者番号	104	発行者名	数研出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に、学び方に関する紹介のページが設けられている。 ・ 1年生「平面図形」は「移動」「作図」の順に学習する。 ・ 2年生「データの活用」では、ボール投げの記録を分析する手段として「箱ひげ図」を利用している。 ・ 3年生「二次方程式」は「因数分解」「平方根」「解の公式」の順に学習する。 ・ 学びを深める目的で、本冊とリンクした別冊がある。 ・ (ICT)QRコードからデジタルコンテンツを参照できる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生では「数と式」領域，3年生では「関数」領域の占める割合が一番多い。 ・ 興味を深めたり考え方を広めたりする話題やコラムのページが少ない。 ・ スパイラル的教材が多い傾向にあり，2年生では7社の中で一番多い。 ・ 全学年50ページ程度の別冊（探求ノート）がある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別冊として、「探求ノート」が付いており、学んだ内容を深める課題や、総合的に活用して解決する課題を取り上げている。 ・ ノートの作り方が巻頭に明示されており、既習内容が利用できるように、ノートの工夫、ノートづくりのポイントが示されている。 ・ 毎時間ごとのスパンで、学習内容が示してあるが、目標としてはわかりにくく、見通しをもって取り組める構成とは言い難い。 ・ 節ごとに確認問題のページがあり、また章末問題では、程度に応じて問題Aと問題Bがあり、スモールステップにより、内容をより深く身につける構成になっている。 			

教科名（数学）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の巻頭に、小学校算数のうち、数学でよく使う内容をまとめて掲載してある。 ・ 1年生「平面図形」は「移動」「作図」の順に学習する。 ・ 各学年の巻頭に、ノートづくりのポイントが、具体例とともに掲載されている。 ・ 2年生、「データの活用」では、猛暑日の日数の経年変化を調べる方法として「箱ひげ図」を利用している。 ・ 3年生「二次方程式」は「因数分解」「平方根」「解の公式」の順に学習する。 ・ (ICT) デジタルコンテンツが用意されており、QRコードが掲載されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1，3年生では「データの活用」領域の占める割合が一番高い。 ・ 1，2年生では「数と式」領域の例題と練習問題の量が最も多いが、巻末練習問題は少ない傾向にある。 ・ プログラミングに関する内容のページが全学年あり、二番目に多い。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間の学習の「めあて」が標記され、学習内容の見通しを持って授業に取り組める構成になっている。 ・ 「学び合おう」のページが設定（3年生は4つ）され、巻末にはその「対話シート」が付いており、見通しを持ち、自分で考え、話し合ったりしながら学びを深めていく活動につなげている。 ・ 随所に、「大切な見方・考え方」がラベルで示してあり、数学的な見方・考え方を生活や仕事の中でも使っていくものとして、意識して学習を進められるように構成されている。 ・ 巻末に、「数学マイトライ」があり、一人一人の学習状況に応じて取り組める問題や、学んだことを広げたり深めたりするための課題などを取り上げている。 			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦長（縦A 4 横B 5）で、小型の生徒用学習机や隣り合う席を使う理科室などでの使用に適している。 ・他の学習用具（ノートや副教材等）とサイズが異なり、持ち運び等に不便を感じる。 ・分野ごとに色分け・区別してある。（分野ごとの配色については一考の余地あり） ・本文と、関連する図や写真等とのつながりがわかりにくい。 ・教科書の巻頭で理科の学習の進め方が丁寧に記載してある。 ・練習問題と解説が丁寧である。 ・用語の変更に伴い、旧用語をカッコ書きで記載してある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学の歴史など生徒の興味を引くコラムがある。 ・分野の配列が生物→化学→物理→地学である。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各節ごとに思考を促すめあてを提示し、節の終わりに考えをまとめるレイアウトになっている。 ・大單元ごとの探究活動は設定されていない。 			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	4	発行者名	大日本図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイズ（旧教科書と同じ）感がよく、持ち運びや理科室での活用に適している。 ・落ち着いた中間色やレイアウトで見やすい。 ・写真や図も見やすい大きさと、学習に適している ・「暮らしの中の理科」などで、実際に理科を感じられる場面が紹介されており興味付けができる。 ・実験操作を場合分けして丁寧に記述してある。（〇〇のときは、操作△△へ…） ・練習問題と解説が丁寧である。 ・章のはじめの「思いだそう」で小学校の学習内容が記載されている。節のはじめにめあてはあるが他社と比べて目立たない。まとめ・振り返りのようなものはなく、章末問題となっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験のしやすい時期、発達段階を考慮した表現や難易度になっている。 ・章末に基本問題、読解力問題があり、生徒の定着度に応じて幅広く対応してある。 ・分野の配列が生物→化学→物理→地学の順となっている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験には「結果から考えよう」「結果の例」「私のレポート」などで、科学的な見方・考え方を養えるようになっている。 ・単元ごとに探究活動が設定されており、探究的な課題に主体的に取り組む態度を養うことができる。 ・他社と比べてICTの活用が少ない。 			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	1 1	発行者名	学校図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横に大きなサイズ（縦B5、横A4）で、小型の生徒用学習机や理科室では使いづらい。 ・大きな図や写真が特徴的で、文章は少なめになっている。 ・教科書の巻頭に理科の学習の進め方が丁寧に記載してある。 ・実験の手順が実物写真で示してあり、実験・観察のポイントがわかりやすい。しかし、1つの実験が複数のページにわたっており、一読しただけでは全体像をつかみにくい。 ・章のはじめに3観点の評価規準を記載し、章の終わりに自己チェックができる。節ごとに学習課題が記載してある。 ・思考ツールとして、教科書巻末にアイデアボード（ホワイトボード）が綴じてある。 ・節の終わりは生徒自身でまとめる形式ではない。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図は大きいものの、文字は小さく空白部分が多い。 ・分野の配列が生物→化学→物理→地学の順である <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験観察のときには、人が話している様子から対話的に仮説などをたてるようになっている。 ・他社と比べ、ICTの活用が少ない。 			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横に大きなサイズ（縦B5、横A4）で、小型の生徒用学習机や理科室では使いづらい。 ・文字サイズを大きめにし、落ち着いた配色やレイアウトで見やすくなっている。 ・本文の1行が長く（A4横全体）、読みづらい。 ・教科書の巻頭で理科の学習の進め方が丁寧に記載してある。 ・重要用語は朱色となっている。 ・練習問題と解説が丁寧である。 ・章のはじめに小学校で学習したことが記載してある。 ・章の始まりには「学習前の私」、章の終わりには「学習後の私」として、自分の学びを気づかせる工夫がある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章末の基本問題で基本事項の確認ができるが、学習の深まりにはつながりにくい。 ・「ハローサイエンス」などで様々な記事が紹介しており、生徒に興味をひかせることができる。 ・実験や観察のページを大きなレイアウトで説明し、器具の操作がしやすくなっている。 ・分野の配列が生物→化学→地学→物理の順である。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話し合おう」などの課題で、実験や観察の結果から生徒がスムーズに探究活動ができるように配慮してあるが、学習を深める探究活動自体は不足している。 ・「仮説を立てる」のコーナーがしっかり配置されており、実験前に予想させる活動が重視してある。 			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	6 1	発行者名	啓林館
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横に大きなサイズ（縦B5、横A4）で、小型の生徒用学習机や理科室では使いづらい。 ・写真が大きくダイナミックで、見やすく感じるが、ページの端まで広がる写真には圧迫感を感じる部分がある。 ・全体的に明るい配色で、見やすいレイアウトになっている。 ・表紙や導入ページからQRコードがついており、また、ICTコンテンツが充実している。 ・章のはじめに小学校の学習内容とのつながりが記載されている。節ごとにめあてが示してある。 ・身近な事象とつなげたり、高校理科とつなげたりするコラムがある。 ・いろいろなラボで紹介されているコラムで、生徒に興味を持たせることができる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験観察のページでは、手順や結果、考察すべきことがよくまとまっており、生徒にとってわかりやすい。 ・学習のまとめが見やすく、力試しで学習内容を確認させることができる。 ・分野の配列が生物→地学→化学→物理と、他社と異なっている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに探Qクラブを配置し、学びを深める工夫がある。 			

教科名（音楽）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイトの案内や新出記号が右ページ端に掲載されているのは、わかりやすい。 ・学習の重点目標がわかりやすく、特に創作に活用できる書き込みのページに工夫がされている。 ・変声や民謡に関する資料と解説が豊富である。 ・QRコードなど興味深いものやSDGsにつながる題材が多く、学習のサポートになる。 ・ワーク形式が多くあり、グループ学習など、主体的・対話的な活動が進めやすい。 ・音や発声など、さまざまな対比をするページがあり、興味深い。 ・楽典の資料がやや難易度が高い。 ・鑑賞の教材や解説等が多い。一般的に文字が多く各ページの余白の色が暗い印象を与える。 ・糊付けの製本で、本を開いても平らにならず書き込みにくい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の資料は学年が上がるごとに充実しており、歌唱・創作・鑑賞の重点題材が明示されている。 ・器楽では技能のイラストと楽譜が同じページに記されているため、苦手な生徒には助けになる。 ・写真が全体的に暗いイメージでレイアウトがわかりにくい。 ・歌唱教材と鑑賞教材の配列がわかりにくく、合唱コンクールなどで取り扱う曲が少ない。 ・文字による情報量が多く、文字の背景に模様や写真が好奇心を刺激するが、読みにくい。 ・「深めてみよう」は鑑賞と表現のどちらの分野も混ざっていたりして扱いにくい。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法、学習指導要領に沿った内容で、示された目標は網羅されている。 ・県、市教育振興計画の目標をふまえた内容となっている。 ・丹波篠山市のデカンショ祭りや民謡等地元の文化を見直すきっかけになる。 ・社会の中の音楽の位置づけや音楽からの広がりを資料や解説から感じ取れる。 			

教科名（音楽）

発行者番号	27	発行者名	教育芸術社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 迫力のある写真や、イメージしやすい写真が多く、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ・ 学年に応じて無理のない発声で歌える曲が多く、コラム等の文章もそれぞれの学年にふさわしい。 ・ 学習目標や、記号などがわかりやすく表示してあり、評価と教材のつながりが理解しやすい。 ・ 創作の資料が理解しやすく、楽典の学習はゲーム形式で行えるので、楽しみながら取り組める。 ・ QRコードなどは興味深く、学習をサポートすることができる。しかし、内容が薄いものもある。 ・ 音楽史の表では作曲家の名前と肖像を伴って表記してあるのでわかりやすい。 ・ 2、3年の下の教科書は様々な音楽の分野について幅広く網羅している。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 季節や発達段階に合わせ学年毎の内容の配置に統一感があり、教科書全体を理解しやすい。 ・ 合唱曲が多く、曲調も多岐にわたる。 ・ 基本の内容から発展の内容へと活用しやすく、工夫してある。 ・ 読むことよりも見てわかることが多く、器楽の内容もまとまっていて楽譜が見やすい配置である。 ・ 「心の歌」の配列が学年相当であるのと、内容がそれぞれ充実している。 ・ 表現・創作・鑑賞の3つの分野が整理して配列されており、発展的に深めやすい。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育基本法、学習指導要領に沿った内容で、示された目標は網羅されている。 ・ 県、市教育振興計画の目標をふまえた内容となっている。 ・ 兵庫県に関する内容も多く、丹波篠山市のデカンショ祭り等地元の文化を見直すきっかけになる。 ・ 書き込みができるワークシートのページがあり、主体的・対話的な学びにつながりやすい。さらに、「深めよう！音楽」の項目で協同的な学習につなげ、深める仕組みが作られている。 			

教科名（ 美術 ）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容題材ごとに3つの視点からの目標が示されている。巻末の資料は物足りなさを感じる。 ・教科書にあるQRコードを読み取ることで動画や参考作品を見ることができ、イメージを広げ、自分で考え、実現していくためのヒントを示している。 ・中学生以上で習う漢字には、ふりがなをつける総ルビやユニバーサルデザインフォントを使用するなど、多様な個性をもつ生徒に配慮している。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事項が精選されていて、教材の選定・配列・構成が明確である。 ・日本の工芸品・古典作品、西洋の古典作品の掲載量が多く、他の分野の量に影響している。 ・作家の鑑賞作品が多く資料集的になっている。生徒の作品が少ない。 ・1年生では、図画工作から美術へと変わり、これから始まる美術教育の内容と見通しを伝え、各教材の学習の意義を明確にした構造になっている。 ・2、3年生では、さまざまな分野で活躍する著名人の話を掲載し、生活や社会の中で生かす美術の働きについて掲載されている。 ・「美術2・3」が一冊で、分厚く副読本（資料）のような体裁である。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨を十分に活かし編成されている。 ・防災に関する内容は取り上げられているが、兵庫県については、ほとんど取り上げられていない。 ・LGBTに関連する作例を掲載している。 ・自分の将来を考える時期でもある中学2・3年生に、美術の力が社会でどのように役立っているのかを紹介し、兵庫型キャリア教育の推進に役立つよう工夫されている。 			

教科名（ 美術 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術文化の理解を深めるため、作品や作家の紹介が資料として取り上げられている。 ・デザインに関する作品が多く取り上げられている。 ・教科書にトレーシングペーパーを挟み込むことによって、鑑賞を深める工夫がされている。 ・デジタル教材と連携することで、立体作品をさまざまな角度から見ることができるなど、作者の表現を感じ取ることができるように工夫されている。 ・表現と鑑賞の相互関係を意識し、一つの題材の中で一体的に学べるように構成している。 ・美術での学びが他教科とどうつながるのかを、分かりやすく説明している。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事項が精選されていて、教材の選定・配列・構成が明確である。 ・材料や用具、技法など、さまざまな資料を巻末にまとめてある。 ・1年生では、描いたりつくったりするための材料と用具について資料を揃えている。 ・2・3年生では、映像メディアの活用や日本美術史について必要なときに参考にできる資料を充実させている。 ・「美術2・3」が一冊で、分厚く副読本（資料）のような体裁である。 ・教材ごとに明確なねらいが示されているが、教材数が少なく授業者の選択幅が限られてくる。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨を十分に活かし編成されている。 ・防災に関する内容は2・3年生を中心に取り上げられているが、兵庫県については、ほとんど取り上げられていない。 ・技能に関して、題材のページでは、完成作品と合わせて制作の手順も適時掲載されている。生徒が技能を習得し、活用する手助けとなるよう工夫されている。 ・全ての題材に造形的な見方、考え方を働かせることを促す目標を設け、美術科における知識の理解および活用につながるように配慮されている。 			

教科名（ 美術 ）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会に結び付いた美術を扱う題材を多く掲載し、カリキュラムの充実が図られている。 ・デジタル教材と連携することで、立体作品をさまざまな角度から見ることができるなど、作者の表現を感じ取ることができるように工夫されている。また、作品と出会う楽しさや実感的な理解を味わうために、実物の鑑賞体験に近い色味の再現に力を入れている。 ・折り曲げて、実際の見え方と同じになるようにしたり、実寸大で掲載したりとよりリアルに鑑賞できるよう工夫されている。 ・多彩な作品を掲載し、テキストを充実させることにより、内容がつかみやすく多様な授業展開を考えられる構成になっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに明確なねらいが示されている。巻末の資料は授業をする上で使いやすい。 ・基本的な事項が網羅されていて、教材の選定・配列・構成が明確である。特に美術1における教材数が豊富であり、選択して実施できるように配慮してある。 ・2年生では、作り手や使い手の視点から鑑賞し、継承と創造の気持ちが持てる題材を設定している。 ・3年生では、社会や環境の問題へと視野を広げ、美術の力で社会貢献する方法を探っている。 ・発達段階に応じた3冊構成になっている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨を十分に活かし編成されている。 ・視点を変え見つめることにより、発想や表現の広がる題材が取り上げられている。 ・阪神淡路大震災や東日本大震災など防災に関する内容が適切に配置され、兵庫県の復興モニュメントについても取り上げられている。 ・ひょうご教育創造プランの重点テーマである「未来への道を切り拓く力」の育成のため、生徒が自ら主題を生み出し表現する意欲を持てるように、身近な対象を扱う題材や、発想や構想の手立てを掲載している。生徒の主体性を引き出し、自ら主題を生み出すようなヒントが掲載されている。 			

教科名（ 技 術 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 全ての生徒にとって認識がしやすいように、文字の書体にUD書体が使用されており、ふり仮名は特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体が使用されている。 • 重要な語句はゴシック体を用いて強調されており、巻末には用語の解説がまとめてある。 • 各編のはじめにDマークとしてQRコードが掲載されており、さまざまな動画やシミュレーションを活用することができ、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。 • 別冊付録として「プログラミング手帳」がついており、Scratchやドリトル等の簡単なプログラミングが体験できるようになっている。 • 問題解決を安全に行うための「安全」「衛生」などのマークや、実習のこつに「ポイント」マークをつけ、生徒への注意喚起がなされている。 • 「環境」「消費者」「伝統文化」「防災」「情報モラル」などのマークを設け、現代的な諸課題を意識しながら学習が進められるように工夫されている。 • 巻末の「学んだことを社会に生かす」では、「技術の匠」で紹介した人を再登場させ、キャリア形成のための学習や技術分野の学習のまとめとして活用できるようにしてある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 技術分野で学習する4つの領域を「1編 材料と加工の技術」「2編 生物育成の技術」「3編 エネルギー変換の技術」「4編 情報の技術」としてまとめてあり、最初に巻頭資料や技術分野のガイダンス、最後に巻末資料で編集されている。 • 「A 材料と加工に関する技術」は70頁にわたっており、特に「材料と加工の技術による問題解決」に40頁を使用し、詳しく取り扱っている。 • 「B 生物育成の技術」は50頁にわたっている。特に「生物育成の技術による問題解決」に30頁使用し、詳しく説明されている。 • 「C エネルギー変換の技術」は60頁にわたっている。「エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み」に30頁使用し、知識の定着を図っている。 • 「D 情報に関する技術」は66頁にわたっている。「安全に利用するための情報モラル」と「安全に利用するための情報セキュリティ」に計10頁使用し、分かりやすく説明している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 育成すべき資質・能力を、各節の冒頭に「目標」として明確に示している。 • 主体的・対話的で深い学びの実現に資する「活動」が充実している。 • 兵庫県に関する内容は、巻頭のガイダンスの技術の歴史（建築）の部分に姫路城が取り上げられている。 • これからの情報の技術として、自然災害の被害に備える情報の技術が紹介されている。 			

教科名（ 技 術 ）

発行者番号	6	発行者名	教育図書
<p>【教科書の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書と別冊ハンドブックとで構成され、別冊ハンドブックには実習に関する説明や注意事項などが、豊富な図や写真と共に詳しく説明されている。 ・写真の説明が多く使われているが、多くの写真を入れようとするあまり、個々の写真が小さくて見づらくもある。 ・写真の説明などにさりげなく専門用語が使用され、その注釈がない場合があり、初見者には何のことなのかわかりづらい。 ・材料と加工の技術、生物育成の技術において、いくつかの実習教材例に関して、作業工程を写真などを用いて丁寧に説明されている。 ・資料「エネルギー伝達(機械のしくみ)」は、発想へのヒントが的確にまとめられている。 ・ワークシート的な役を持つ「やってみよう」の部分が随所に配置されている。 ・それぞれの道の職人や先輩などのエピソードやメッセージ、社会に役立っている技などがコラムとして配置され、技術への関心を高める役を果たしている。 ・A～Dの各領域の後に、E「夢を叶える技術」として、問題解決に向かう考え方や実習例などが紹介されている。 ・巻末には各領域用のワークシートが綴じられていて、切り離して提出できるようになっている。 ・実習重視の傾向がみられ、説明などの図や写真が多用されており、視覚的に理解しやすくなっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ガイダンス」「A材料と加工の技術」「B生物育成の技術」「Cエネルギー変換の技術」「D情報の技術」「E夢をかなえる技術」で構成されている。 ・教科書とは別にハンドブックが用意され、ハンドブックには基本的な技能についての説明や図説などが集約されている。 ・「A材料と加工の技術」では、導入教材で加工の基本を実習し、本教材の設計、製作へとつなげる構成となっている。68頁の内構想や設計の仕方、実習例などに多くの頁を割いている。 ・「B生物育成の技術」では、簡単な農作物の栽培例だけではなく、家畜や水産生物の飼育についても、その飼育技術の紹介などがされている。生物育成の基礎学習は頁分量が少なく、全44頁に実習例が占める割合が高い。 ・「Cエネルギー変換の技術」では、主に電気に関する内容と機械に関する内容とがサンドイッチのように配置されている。最新の技術に関する記述はほとんどなく、電気や機械に関する基本的な項目を中心に全64頁で構成されている。電気に関しては部品の基板への取り付けを写真などで詳しく、また機械に関してはクランク機構やカムなどを駆使しての動きの制御についてのヒントが多く与えられている。 ・「D情報の技術」では、84頁の内にプログラミングに関する頁が圧倒的に多く、情報セキュリティやモラルに関する記述が少ないと感じられる。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に即し、双方向コンテンツのプログラムに関する頁が非常に多いと感じる一方、大きな社会問題である情報セキュリティや情報モラルの扱いが軽すぎるように感じる。 			

教科名（ 技 術 ）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂
<p>【教科書の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のヒントやポイントを吹き出しで提示することにより、親しみやすい工夫がなされている。 ・本文の記述は、基礎・基本と参考・探究等の区分を明確にされている。 ・基礎・基本的な内容の理解を助けるために、分かりやすい図版・イラスト・写真が多数掲載され、必要性のあるものについては生、徒の目線で撮影したり描写されている。 ・「リンクマーク」を用いて他の内容との関連を示すだけでなく、家庭分野や他教科、小学校との関連も明確に示しカリキュラム・マネジメントの実現ができるように配慮されている。 ・作業中の事故防止を重視し、折り込みを使って安全に関する内容が取り扱われている。また、本文各所の作業場面には「安全マーク」を付して、作業に即した注意点が記述されている。 ・各頁の脚注に「豆知識」を設け、知っておくと便利な情報や面白情報を掲載されている。 ・各内容の終わりの頁には「学習のまとめ」が設けられている。「学習をふり返ろう」では学習のまとめや自己評価ができるように、「学びを深めよう」では具体的な事例を通して適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする態度を養うことができるようになされている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術分野で設定されている「A 材料と加工の技術」「B 生物育成の技術」「C エネルギー変換の技術」「D 情報の技術」の4つの内容に加え、教科書の最初にガイダンスを、最後に「技術分野の学習をふり返り、私たちの未来へつなげよう」を配置し、6つの学習内容と巻末資料で編集されている。 ・「A 材料と加工の技術」は72頁にわたっている。「問題解決の手順」に24頁、「製作のための技能」に20頁を割り、詳しく説明されている。実習例は7例示され充実している。 ・「B 生物育成の技術」は44頁にわたっている。実習例が8例示され充実している。 ・「C エネルギー変換の技術」は52頁にわたっている。「エネルギー変換の技術による問題解決」に10頁を割り、実習例を5例示されている。 ・「D 情報の技術」は69頁にわたっている。「情報セキュリティと情報モラル」について10頁、「双方向性のあるコンテンツによる問題解決」「計測・制御による問題解決」に22頁を割いてわかりやすく説明されている。実習例は8例示されている。 ・「技術分野の学習をふり返り、私たちの未来へつなげよう」は①技術分野での問題解決をふり返ろうと②技術の工夫・創造と私たちの未来の2つの内容でまとめられている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学習項目の冒頭には「学習の目標」、学習の節目には「ふり返り」を設置し、反省や自己評価が行え、学習内容の定着が図れるように配慮されている。 ・環境に関する記述部分には「環境マーク」をつけ、環境に関する意識を高め、循環型社会の対応していく態度が身につくように配慮されている。 ・随所に防災に関する内容を取り扱い、「防災マーク」を付して、防災への意識を高めることができるように配慮されている。 			

教科名（ 家庭科 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の学びを基にした中学校での学習の見通しを丁寧に示している。 ・ 学習のまとめでは、問題とその章の大切な用語がページ数とともに一覧になっている。 ・ 調理実習の手順が、焼く時間など具体的に細かく記述されている。 ・ 献立を考えるページで使うシールが付録として添付されている。 ・ ページ右下にパラパラ漫画がついている。 ・ 防災・減災手帳や子どもの視野体験眼鏡が添付されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領が示す、B・C・Aの順で配列されている。 ・ はじめの活動で様々な導入場面が設定されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習教材、実践的、体験的な内容について多く取り扱われているが、調理実習に関する実践的な記述が少ない。 ・ 家族・家庭生活に関して、実習教材、実践的・体験的的具体例が豊富である。 ・ 防災について扱う内容の取扱いは少ない。 			

教科名（ 家庭科 ）

発行者番号	6	発行者名	教育図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各領域の「学習の振り返り」では、3つの観点で自己評価ができる。 ・活字のフォントが大きく見やすい。様々な資料が多い。QRコードを利用することで、資料動画を視聴することができる。 ・調理の内容では、材料の役割について、なぜそうするのか絵や解説で具体的に書かれており分かりやすい。また、失敗例が写真で掲載されている。 ・学習のまとめとして、章末に学習の振り返りが3観点に沿って1ページ設けてあるが、問題のみである。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に沿った配列である。 ・主体的・対話的な学びを促すワーク「考えてみよう」「話し合ってみよう」が掲載されている。 ・学習指導要領に沿ったA～Cの順に配列されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する内容の取扱いが少ない。 ・生活の課題と実践に関する内容が豊富である。 ・高齢者との共生についての取扱い内容は少ない。 			

教科名（ 家庭科 ）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂
<p>【教科書の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年間の学びやその方法のイメージを示している。 ・ 巻末の資料に発展的な内容が記載されている。学習前と学習後の自身の関心についてふりかえりながら書けるようになっている。 ・ 調理実習例の材料に、アレルギー物質を含む食品に黄色の線が引かれており、分かりやすい。 ・ 他教科との関連が分かりやすくマークと記述でページ右上に表示されている。 ・ SDGsに関する内容が豊富である。また、LGBTに関する内容が各領域で取り入れられている。 ・ 教科書のページに QR コードがつけられており、内容に関連する資料動画がすぐに見られるようになっている。動画は10～20秒で細かく区切られており視聴しやすい。 ・ 教科書が他の同じ教科の教科書と比較して軽い。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領に沿った配列であり、主体的・対話的で深い学びの実現が可能な構成となっている。 ・ 学習のまとめとして、章末に学習の振り返りがワークシート形式で掲載されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A、B、Cの各領域で課題と実践に関する内容がわかりやすくまとめている。 ・ 防災について領域Aでは少ないが全体的には多く、豊富に取り扱われている。 ・ 家族の生活と関連させた内容が少ない。 ・ 多様な人々との共生に関する内容が豊富である。 			

教科名（ 保健体育 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料は章末にまとまっており、確認問題もある。 ・大切なキーワードが抜き出してあり、分かりやすい。 ・Dマークコンテンツがあり、デジタルコンテンツが使いやすい。 ・全体的に色合いが薄暗く、見えにくいと感じる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『章の扉』『各時間の学習』『章末資料』『学習のまとめ』の順で構成されている。 ・1時間の流れも『見つける』『学習課題』『課題の解決』『広げる』などの流れが分かりやすく、生徒、教師も見通しをもって学習に取り組みやすい。 ・学年ごとに分類されており、なおかつ学年の中で『体育編』『保健編』にわかれている。保健編から始まっている。 ・デジタルコンテンツは授業中に使用したり、予習学習に活用したりと見やすい工夫がある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に、生徒自らが主体的に取り組み、学びやすい説明、資料でまとめられている。しかし、1つ1つの解説には補足が必要な部分がある。 ・章末問題の中で、単元によっては実生活につながる場面を想定して考えさせ、習得した知識を活用できるものがある。 ・『活用する』は1時間の授業で対話的な学習を意識した発問がある。 ・資料や写真が多く、興味を持ちやすい。また、それらを活用して自分の考えを出し合ったり、話し合ったりしやすい。 			

教科名（保健体育）

発行者番号	4	発行者名	大日本図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の説明が左側で、詳しい資料が右側にあり、見やすい構成になっている。 ・色合いがはっきりしていて見やすい。 ・説明文の中で重要語句が大きなフォントを使用し、さらに読み仮名がついているため読みやすい。 ・重要語句で振り返りをし、再確認ができる構成になっている。 ・学習のねらいが書いてあり、目的を持って学習に取り組みやすい。 ・保健編における写真の量が多く、わかりやすい。 ・ユニバーサルデザインを配慮したフォントが使用されている。 ・單元ごとに Web マークがあり、デジタルコンテンツが使用できるようになっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き 1 ページの中に『学習のねらい』『トピックス』『資料』『ミニ知識』が読みやすい配列で提示されており、分量も適当である。そのため生徒、教師も見通しをもって学習に取り組める。 ・学年ごとに分類されており、なおかつ学年の中で『体育編』『保健編』にわかれている。 ・各章の最後には『学びを活かそう』と『学習のまとめ』があり、これまでに習得した知識をまとめたり、活用したりすることができる。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを基に、学んだ知識を習得・活用していくことができ、実生活に結び付けたり深い学びにつなげたりできる工夫がある。 ・全体的に、生徒自らが主体的に取り組み、学びやすい説明、資料でまとめられている。 			

教科名（ 保健体育 ）

発行者番号	224	発行者名	学研
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章ごとにまとめの問題があり、振り返る工夫がされている。 ・一年間を振り返るページがあり、実生活につながっているかを確認できるように工夫されている。 ・新体力テストの記録欄があるが、3年間分あればさらに良いのではないか。 ・QRコードがあり、デジタルコンテンツでまとめてみることができる。 ・小学校で学習したこと、高校で学習することが書いてあり、12年間を見通した学習の手立てになっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『章の扉』『各時間の学習』『章のまとめ』の順で構成されている。 ・1時間の流れも『学習の目標』『課題をつかむ』『考える・調べる』『まとめる・深める』の流れが分かりやすく、生徒、教師も見通しをもって学習に取り組める。 ・学年ごとに分類されており、なおかつ学年の中で『体育編』『保健編』にわかれている。体育編から始まっている。 ・資料等の補足説明が多い分、一見して見えずらい。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを基に、『探求しよう』の場面で学んだ知識を習得・活用していくことができる。しかし、対話的になるきっかけや、実生活に結び付けて考えるにはやや難しい。 ・全体的に、生徒自らが主体的に取り組み、学びやすい説明、資料でまとめられている。 			

教科名（保健体育）

発行者番号	50	発行者名	大修館
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挿絵や写真が多くあり、興味を持ったりイメージしたりしやすい。 ・それぞれのページに『課題をつかむ～やってみよう～』の項目があり、自分の生活を見直したり問題を解いたりして興味を持ちやすい。 ・巻末の『用語の説明』が解説付きでわかりやすい。 ・Web 保体情報館があり、より詳しい情報が得られたり、学習に生かしたりできる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章ごとに特集資料やまとめ問題があり、章の復習や振り返りがしやすい。 ・学年ごとに分類されており、なおかつ学年の中で『体育編』『保健編』にわかれている。 ・見開きに『単元をつかむ』『掘り下げる』『今日の学習』『キーワード』『学習のまとめ』の5つの配列が分かりやすく、学びを深めることができる。 ・資料や写真が多い分、見やすく興味も持ちやすいが、説明が少し少ない傾向がある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に、生徒自らが主体的に取り組み、学びやすい説明、資料でまとめられている。 ・資料や写真が多い分、それらを活用して自分の考えを出し合ったり話し合ったりしやすいが、説明が少ない分、補足説明の時間が必要である。 			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A B 版、189 ページ（1 年）、197 ページ（2，3 年） ・ 教材ごとに漫画を使用した導入、考えたり思ったりしたことを書き込める「つぶやき」欄、「考えよう」、「自分を見つめよう」の設問（2 問）があり、十分な話し合いの時間を確保できるようにしてある。巻頭にはオリエンテーション、巻末には学期ごとの自己評価用紙、ホワイトボード用紙、心情円が収録されている。Web ページや動画、他教科との内容が見られる教材もある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>○内容の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 教材を 1 時間で学習する構成となっており、内容項目は全て網羅されている。 ・ 30 教材と付録 5 教材がある。小学校との連携、中学校卒業後への接続が工夫されている。 ・ 2 通の手紙 3 年 足袋の季節 3 年 <p>○分量：1 年 自：16% 人：19% 集：35% 生：14% 他：16%</p> <p>2 年 自：16% 人：16% 集：36% 生：16% 他：16%</p> <p>3 年 自：16% 人：16% 集：38% 生：14% 他：16%</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題への対応（1 年 5、2 年 3、3 年 3） ・ 問題解決的な学習（1 年 1、2 年 2、3 年 4） ・ 体験的な内容（1 年 5、2 年 4、3 年 4） ・ 伝統や文化等（1 年 4、2 年 3、3 年 2） ・ 兵庫県に関する内容（1 年 1、2 年 1、3 年 1） ・ 防災に関する内容（1 年 1、2 年 2、3 年 1） ・ 情報に関する内容（1 年 1、2 年 1、3 年 3） ・ 人権・福祉・環境に関する内容（1 年 5、2 年 6、3 年 6） 			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B 5 版、208 ページ（1 年）、192 ページ（2，3 年） ・ 教材の冒頭に「導入」の文章があり、学習のねらいを明確にし、末尾には「学びの道しるべ」があり、多面的・多角的に考える発問が示してある。巻末付録として学習したことを 1 時間ごとに記録したり、学期ごとに自分の学びや成長を振り返るページが設けてある。まなびリンクで学習に役立つ情報をウェブサイトで見られる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>○内容の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 教材を 1 時間で学習する構成となっており、内容項目は全て網羅されている。 ・ 35 教材を設け、年間 35 時間分が保障されている。発達段階や学年の特性に合わせ教材内容が配置されている。 ・ 2 通の手紙 3 年 足袋の季節 3 年 <p>○分量：1 年 自：20% 人：20% 集：30% 生：18% 他：12%</p> <p>2 年 自：18% 人：18% 集：40% 生：12% 他：12%</p> <p>3 年 自：15% 人：12% 集：38% 生：23% 他：12%</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題への対応（1 年 3、2 年 3、3 年 2） ・ 問題解決的な学習（1 年 3、2 年 3、3 年 3） ・ 体験的な内容（1 年 3、2 年 1、3 年 3） ・ 伝統や文化等（1 年 4、2 年 2、3 年 3） ・ 兵庫県に関する内容（1 年 2、2 年 4、3 年 1） ・ 防災に関する内容（1 年 2、2 年 3、3 年 1） ・ 情報に関する内容（1 年 2、2 年 2、3 年 0） ・ 人権・福祉・環境に関する内容（1 年 8、2 年 8、3 年 9） 			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書																		
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B 5判、197 ページ（1年）、205 ページ（2・3年） ・ 「子供たちの糧となる多様な教材」をテーマに心に響く教材や地域教材、現代の課題を扱った教材を多く用いている。また、生徒の成長や問題意識に寄り添いながら、道徳の学びが深まるよう各学年3つのシーズンに分け、見通しをもった構成となっている。「深めたいむ」としていじめ問題・情報モラルを中心に前の教材で学んだことを自分に引き付けて深めていく場面が設定されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>○内容の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1教材を1時間で学習する構成となっており、内容項目は全て網羅されている。 ・ 年間の学習を3つのシーズンに分け、学びのテーマを設定している。 ・ 2通の手紙 3年 足袋の季節 3年 <p>○分量</p> <table> <tr> <td>1年</td> <td>自：17%</td> <td>人：25%</td> <td>集：33%</td> <td>生：20%</td> <td>他：5%</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>自：26%</td> <td>人：17%</td> <td>集：32%</td> <td>生：20%</td> <td>他：5%</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>自：22%</td> <td>人：20%</td> <td>集：33%</td> <td>生：20%</td> <td>他：5%</td> </tr> </table> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題への対応（1年 8、2年 12、3年 9）・問題解決的な内容（1年 4、2年 1、3年 4） ・ 体験的な内容（1年 4、2年 1、3年 4）・伝統や文化等（1年 5、2年 7、3年 6） ・ 兵庫県に関する内容（1年 0、2年 1、3年 0）・防災に関する内容（1年 1、2年 3、3年 1） ・ 情報に関する内容（1年 2、2年 3、3年 1） ・ 人権・福祉・環境に関する内容（1年 6、2年 4、3年 5） 				1年	自：17%	人：25%	集：33%	生：20%	他：5%	2年	自：26%	人：17%	集：32%	生：20%	他：5%	3年	自：22%	人：20%	集：33%	生：20%	他：5%
1年	自：17%	人：25%	集：33%	生：20%	他：5%																
2年	自：26%	人：17%	集：32%	生：20%	他：5%																
3年	自：22%	人：20%	集：33%	生：20%	他：5%																

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	116	発行者名	日本文教出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B 5判、198 ページ（1～3年）、別冊「道徳ノート」付き ・ 「いじめと向き合う」をテーマにいじめ防止の内容を多角的に扱っている。また、今回新たに「社会参画」や「将来の生き方」についての教材やコラムも増設している。「主題と登場人物の確認」「中心発問」「学んだことを自分に生かす補助発問」というわかりやすい学習の流れが明示されている。別冊ノートで学習を振り返り、生徒自身が心の成長を実感できるようになっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>○内容の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1教材を1時間で学習する構成となっており、内容項目は全て網羅されている。 ・ 各学年とも35教材が収められている。重点項目については複数の教材が掲載されている。 ・ 2通の手紙 3年 足袋の季節 3年 <p>○分量 1年 自：17% 人：20% 集：43% 生：20% 他：0%</p> <p>2年 自：17% 人：20% 集：43% 生：20% 他：0%</p> <p>3年 自：17% 人：17% 集：46% 生：20% 他：0%</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題への対応（1年 7、2年 5、3年 5）・問題解決的な内容（1年 4、2年 4、3年 4） ・ 体験的な内容（1年 2、2年 2、3年 2）・伝統や文化等（1年 4、2年 5、3年 6） ・ 兵庫県に関する内容（1年 1、2年 1、3年 0）・防災に関する内容（1年 3、2年 2、3年 3） ・ 情報に関する内容（1年 2、2年 3、3年 1） ・ 人権・福祉・環境に関する内容（1年 11、2年 12、3年 14） 			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	224	発行者名	学研教育未来																		
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A B判、186 ページ（1年）、198 ページ（2・3年） ・ 肯定的なものの見方などの「プラス思考」、夢や希望を持って強く生きる「未来志向」を基本としている。いじめ防止につながる教材が多く用いられ、重要テーマとして設定している。また、情報モラル教育においても発達段階に合わせた教材が各学年で配置されている。2つの教材で1つの学習を行うユニット学習が用いられており、SDGs とキャリア教育の2つがテーマとなっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>○内容の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1教材1時間と2教材を繋げて2時間で扱うユニット制になっており、内容項目は全て網羅されている。 ・ いじめ防止につながる学習が継続して行えるよう配置されている。 ・ 2通の手紙 3年 足袋の季節 2年 <p>○分量</p> <table> <tr> <td>1年</td> <td>自：23%</td> <td>人：20%</td> <td>集：37%</td> <td>生：20%</td> <td>他：0%</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>自：23%</td> <td>人：20%</td> <td>集：34%</td> <td>生：23%</td> <td>他：0%</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>自：23%</td> <td>人：23%</td> <td>集：34%</td> <td>生：20%</td> <td>他：0%</td> </tr> </table> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題への対応（1年 6、2年 6、3年 5） ・ 問題解決的な内容（1年 2、2年 3、3年 4） ・ 体験的な内容（1年 2、2年 2、3年 4） ・ 伝統や文化等（1年 2、2年 4、3年 2） ・ 兵庫県に関する内容（1年 0、2年 0、3年 0） ・ 防災に関する内容（1年 1、2年 2、3年 2） ・ 情報に関する内容（1年 3、2年 1、3年 2） ・ 人権・福祉・環境に関する内容（1年 4、2年 5、3年 6） 				1年	自：23%	人：20%	集：37%	生：20%	他：0%	2年	自：23%	人：20%	集：34%	生：23%	他：0%	3年	自：23%	人：23%	集：34%	生：20%	他：0%
1年	自：23%	人：20%	集：37%	生：20%	他：0%																
2年	自：23%	人：20%	集：34%	生：23%	他：0%																
3年	自：23%	人：23%	集：34%	生：20%	他：0%																

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	232	発行者名	廣濟堂あかつき																		
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A B版、186 ページ（1年）、170 ページ（2年）、166 ページ（3年）、別冊「道徳ノート」付 ・ 心に響く教材を多く用いて、いじめ問題や現代の課題に重点を置いて編集されている。各題材に「考える・話し合う」を配置し生徒の主体的、対話的な活動を促す構成となっている。また別冊ノートでは自分を振り返り「心の記録」を蓄積できるようになっており、生徒自身が心の成長を実感できると共に評価にも活用できる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>○内容の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1教材を1時間で学習する構成となっており、内容項目は全て網羅されている。 ・ 各学年ともに35教材。1年生の文字サイズを大きくしている。 <p>○分量</p> <table> <tr> <td>1年</td> <td>自：23%</td> <td>人：20%</td> <td>集：34%</td> <td>生：23%</td> <td>他：0%</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>自：23%</td> <td>人：20%</td> <td>集：34%</td> <td>生：23%</td> <td>他：0%</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>自：23%</td> <td>人：20%</td> <td>集：34%</td> <td>生：23%</td> <td>他：0%</td> </tr> </table> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題への対応（1年 2、2年 3、3年 4） ・ 問題解決的な内容（1年 14、2年 10、3年 12） ・ 体験的な内容（1年 8、2年 10、3年 6） ・ 伝統や文化等（1年 1、2年 1、3年 1） ・ 兵庫県に関する内容（1年 2、2年 0、3年 1） ・ 防災に関する内容（1年 1、2年 1、3年 1） ・ 情報に関する内容（1年 2、2年 2、3年 1） ・ 人権・福祉・環境に関する内容（1年 6、2年 7、3年 8） 				1年	自：23%	人：20%	集：34%	生：23%	他：0%	2年	自：23%	人：20%	集：34%	生：23%	他：0%	3年	自：23%	人：20%	集：34%	生：23%	他：0%
1年	自：23%	人：20%	集：34%	生：23%	他：0%																
2年	自：23%	人：20%	集：34%	生：23%	他：0%																
3年	自：23%	人：20%	集：34%	生：23%	他：0%																

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	233	発行者名	日本教科書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B 5 版、194 ページ（1～3年） ・ 「であい、ふれあい、みがき合う道徳教科書」を基本方針に、国境や文化を超えた「普遍的な心」を育むため、生徒一人ひとりが自分自身の問題と捉え向き合い、「考えること」ができ、他の人と「議論できる」教材を揃え、生徒が学びやすく、先生が教えやすい紙面を目指し編集されている。教材の巻末には、「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」がある。教科書の最後に「私の道徳記録」や「心の成長を振り返りましょう」のページがある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>○内容の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 教材を 1 時間で学習する構成となっており、内容項目は全て網羅されている。 ・ 内容項目順に教材を配置し、A B C D の 4 章立ては学習指導要領の A B C D に対応している。 ・ 2 通の手紙 2年 足袋の季節 2年 <p>○分量：1年 自：14% 人：19% 集：41% 生：14% 他：12%</p> <p>2年 自：17% 人：19% 集：35% 生：17% 他：12%</p> <p>3年 自：16% 人：16% 集：34% 生：18% 他：16%</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題への対応（1年4、2年1、3年3） ・ 問題解決的な学習（1年1、2年3、3年4） ・ 体験的な内容（1年1、2年1、3年2） ・ 伝統や文化等（1年1、2年4、3年3） ・ 兵庫県に関する内容（1年1、2年2、3年1） ・ 防災に関する内容（1年0、2年2、3年1） ・ 情報に関する内容（1年1、2年2、3年1） ・ 人権・福祉・環境に関する内容（1年5、2年5、3年4） 			

教科名（外国語）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動がそれぞれのUnitのテストにまとめられており、場面設定ややりとりの内容、最終目標が明示されていて、活動がしやすいものになっている。目的・場面状況が明確でCAN-DOのねらいにマッチしている。 ・教科書が大きくなり非常に見やすく、書き込みやメモなどがしやすい。 ・文法のまとめのページがていねいにまとめられており、子どもたちにとって見やすくなっている。 ・英作文や発表・やりとりで使えるTool Boxが豊富で使いやすい。 ・絵や写真の使い方が非常に見やすく配列されていて使いやすい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのページに文法項目が見やすく提示されている。 ・それぞれのページの下部に小学校の単語が非常に見やすく提示されている。 ・入門の早い段階で、疑問詞がわかりやすくまとめられており、生徒にとってわかりやすい。 ・2年生以降の本文理解、Round制が取り入れられ、生徒にわかりやすく、理解がしやすい。 ・日本国内を題材にした内容が豊富に取り入れられている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で、単元ごとの活動目標や文法が整理され、1年間の学習の見通しを持ちながら段階的・系統的に学習が進められるように構成されている。 ・2年生の内容で、職業体験をテーマにしたものを取り入れている。 ・小学校の学習内容の振り返りも見られ、校種間の接続が円滑に行えるようになっている。 			

教科名（外国語）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親しみの持てるようなデザインのキャラクターである。 ・アルファベットの音読みと名前読みについての説明がわかりやすく提示されている。 ・Reading に実話を元にした日本に関する題材、出来事を多く取り入れている。 ・各 Program の Scenes の内容がシンプルかつわかりやすいので、スムーズな導入につなげることができる。 ・様々な国を題材にしている。世界の著名人や偉人が多く取り入れている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QR コードの小中接続期の内容が工夫されている。 ・Interact（口頭のやりとり）にもう少し工夫があれば、生徒の興味・関心を引く内容になる。 ・Scenes→Think の流れに工夫がされていて、スムーズに展開がなされている。 ・1年生巻末に小学校で習った単語わかりやすく配列されている。 ・1つのページにその Program の文法事項の例が挙げられている。 ・3年生記者会見の内容などは、子どもたちの実情に照らし合わせると場面設定が難しいのではと感じる。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な国を題材に取り上げ、国際理解について考えたり、深めたりすることに適している。 ・海外を題材にした内容は多いが、国内に目を向けた題材が少ないように感じる。 ・2年生の内容に、職業体験を題材にしたものが取り上げられている。 ・国際女性問題や環境問題や科学技術について考えるのに適した教材が多く取り上げられている。 			

教科名（外国語）

発行者番号	1 5	発行者名	三省堂
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文法説明が分かりやすく、英語のしくみの説明も楽しい表記である。 ・ ドリルでは多くの例題を挙げられている。 ・ 長文の表現は自然な英語が多く、ネイティブがよく使う表現が多く使われている。 ・ 絵がシンプルで大げさな表現がないため、見やすい。 ・ SDGs（持続可能な開発目標）についてバランス良く配置されており、生徒の知的好奇心にも配慮してある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字が極端に小さいページがある。 ・ 1年生の Unit6 で突然印刷文字が変わるがまた元に戻る。また3年生になっても付録にしか印刷文字が使われていない。 ・ コーナーが多すぎる。 ・ 物語文の理解のために下線や波線を引かせる指示がある。指導者にとって自由な扱いができない。 ・ リテリング（要約整理）の自由度が少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トークのコーナーではスキットを演じるなど、主体的で自由度の高い活動が用意されている。 ・ What Can I Do?では生徒自身が学びを振り返るようなリストがある。 ・ 3年生の道順案内の活動で神戸について取り上げられている。 			

教科名（外国語）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派手さは少なく、写真や絵が効果的に配置されている。 ・まとめ（文法のページ）がシンプルかつ、丁寧な説明で子どもたちにとって見やすい。 ・一般動詞・be 動詞の対比、区別の説明、提示の仕方が非常にわかりやすいと感じる。 ・参考資料のページが非常に見やすく、子どもたちにとって興味・関心を引く内容になっている。 ・教科書に書き込めるスペースが多く、授業内で活用がしやすい。授業内でのアクティビティや主体的な活動がしやすい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校との接続期である1年生1学期の文章の量が多く、英語に苦手意識を感じている生徒にとっても難しいと感じる。 ・聞く・読む・話す・書くの4技能を高める活動が効果的に設定されている。 ・過去形を学習した後、現在進行形の学習に入るのは子どもたちにとってやや難解と感じる。1年生で使用する助動詞 must, have to, may なども難解であると感じる。2年生で出てくる過去進行形がやや突然すぎる感がある。（接続詞 when との関係と考えられるが） ・現在完了が3年生で3用法揃っていることは指導しやすいし、子どもたちにとっても理解しやすい。 ・3年生で Speech、即興でのやりとり、発表やディベートなどを全ての文法を学習した後に取り上げていることが非常に良いと感じる。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生 Lesson 6 で姫路城が登場している。 ・2年生で職場体験や手塚治虫を題材とした内容を取り扱っている。 ・全体的に身近な人物や題材を取り上げていて、生徒にとって興味・関心の高い内容となっている。 			

教科名（外国語）

発行者番号	38	発行者名	光村図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然な英語で、生きた英語を学べる。 ・ 3年間を貫くストーリーであり、4人の中学生が交流し成長していく物語である。 ・ 実社会に即した場面や素材を豊富に扱っており、生徒の成長に応じた興味を引き起こす工夫がなされている。 ・ 5領域のバランスや活動の一貫性が考慮されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年間の生徒の生活を想定し、生徒が共感できるような内容になるよう配慮がなされている。 ・ Think のコーナーでは友達や先生と対話をしながら考えを深めることができる。 ・ ストーリーリテリングを帯活動で行い、自分の言葉で話すことで、即興で話す力を養えるように工夫されている。 ・ 教師が文法項目の指定をせず、生徒が自由な表現を用いて行うタスク活動が充実している。 ・ 多量の英文を高速処理し、必要な情報や要点を把握することができる課題の設定がある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アウトプットすることをより強く考えられており、リテリングがスムーズに行なえる。昨今話題となっている英検合格者を大幅に増やした「ラウンドシステム」を行うのに適している。 ・ 貧困・世界平和・経済・AI・地球環境・教育などSDGs（持続可能な開発目標）に関連する題材が豊富である。 ・ 兵庫県に関する内容はないが日本の文物の魅力を発信する活動がある。 			

教科名（外国語）

発行者番号	6 1	発行者名	啓林館
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随所にペアやグループでの活動を設け、意見や考えを交流する学習が行える。 ・UD(ユニバーサルデザイン)のフォントが使用され、学習項目の位置をページ上で固定されているので誰にでも読みやすい。 ・後見返しでは前置詞のイメージが分かりやすく図で示してある。 ・演習のUSEでは「例にならって言い、さらに情報を加えて書く。」という活動が行える。 ・ミニスピーチを作成し、発表につなげるような仕組みがある。 ・英語圏以外のことも多く取り上げてあり、比較文化の内容が充実している。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すっきりとした配列であるが、絵や色使いは他の教科書に比べて単調である。 ・対話文のページは多いが不自然さを感じる対話も多い。 ・内容理解のコーナーでは解答について○×がほとんどであり、QAの形態が少ない。 ・教科書に載っている情報量が圧倒的に少ない。 ・「Let's Talk」の対話文のボリュームがなく、物足りなさを感じる。 ・文法のまとめでは演習量が少ない。 ・長い物語が巻末に2つあるのみである。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2・3年生で自然災害の備えや防災に関する内容を取り上げている。 ・地方の高齢者が活躍する「葉っぱビジネス」や観光都市を目指す市町村の取組などを扱い、町おこしを紹介している。 ・兵庫県に関する内容はない。 			